

へばだば

51

編集・発行/自立生活センターPingあおもり 就労継続支援B型事業所スタジオとまと 特定非営利活動法人ピアネット
 038-0011 青森市篠田1-8-1 エムズコーポ101/tel./fax.017-761-2770/e-mail,ping@ping-aomori.jp
http://www.ping-aomori.jp/ping_page/index.htm 発行責任者/佐藤 広則

「へばだば」=津軽弁で、「じゃあね」というような意味。

全国自立生活センター協議会 全国セミナー参加報告

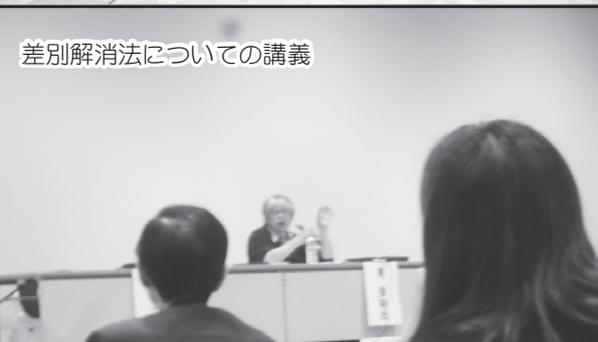
ユースパワーネットの発表です。



ユースパワーネットの会場の様子



差別解消法についての講義



自立生活センターPingあおもり スタッフ 満江 広騎

2015年12月14日(月)~16日(水)まで、福岡市にあるアクロス福岡にて「全国自立生活センター協議会全国セミナー」が開催されました。

Ping あおもりからは、当事者スタッフ 1名と介助者 1名が参加しました。参加者は150人を越え、ADA法(障害をもつアメリカ人法)の制定・発展経緯の映画上映、ADAツアー報告、ピアカン・ILP等のオーガナイザーに求められる手順やポイントについて、障害者差別の種類と差別解消法についてなど、多岐にわたる内容で大いに盛り上がりました。セミナー内容の一部を紹介し、感想を述べたいと思います。

※セミナー詳細は別紙をご覧ください。



51号せくじ

全国自立生活センター協議会全国セミナー参加報告	1	とまとの収穫祭	3
別紙1	2	ピアネット&あおもり24合同忘年会	4
ピアカウンセリング長期講座に参加して	2	2016年抱負	4
青森県総合福祉展	2	年賀状売り上げ報告	4
電動車いすサッカーチーム PSCジャーナル	3	編集後記	4
創作短編小説ジムノペティII	3		

ピアカウンセリング長期講座に参加して

溝江 広騎

2015年10月20日～10月23日、11月25日～11月27日の計7日間、ラプラス青い森で行われた「ピアカウンセリング長期講座」に参加してきました。

ピアカウンセリングとは、障害者自身がカウンセラーとなって、障害者に対して行うものです。①自信を取り戻すこと、②家族やヘルパーなど、他者に自分の気持ちを伝え、聴けるようにすること、③障害者が社会に出ることで、建物や周りの人々の意識を変え、社会を変えること、の3つを目的としており、①時間を平等に分ける、②秘密を守る、③否定批判しない、④アドバイスをせずに、聴き合う、の4つのルールがあります。

長期講座は、集中講座で学んだことを更に深め、ピアカウンセラーとして活動できるようになるための講座です。人間の本质について、感情の解放、障害について、アサーティブトレーニング（テーマを決めて、自分の伝えたいことを相手に伝える練習）、自立生活プログラム作成の練習、などを行いました。

感想としては、自分の気持ちや意見が分からない・言えない方が多い中で、アサーティブトレーニングを対象者と一緒にやっていくことの必要性を感じました。自分自身の支援スキルを向上させるために、学びを継続していきたいと思います。また、ILPの作り方のコマで、「目標を達成するまでに、対象者が感じる不安要素をすべて出してもらい、それを解消するための方法をあらかじめ考えて明確化しておく」こと、プログラムに1つずつ入れていくこと、などが今までの自分のプログラム構成に欠けていた部分であったと気付きました。不安を解消することを前提にした支援を心がけていきたいと思います。

今後も様々な研修に参加し、自己成長に繋げていきたいと考えています。

青森県総合福祉展

10月31と11月1日の2日間、マエダガーラモール店1階で平成27年度障害児・者青森県総合福祉展が行われました。

スタジオとまとは手芸品やエコ紙などを販売しました。

今年は干支の帽子、髪ゴムなどのヘアアクセサリー、エコ紙で作ったぼち袋が売れ筋になりました。

2日間の総売上は14,850円でした。ご来場ありがとうございました。



テーブルカットの様子



髪ゴム

電動車いすサッカーチーム

PSCAジャーナル

2015年11月、私、柿崎長潤は仙台市に新しく誕生したチーム（ビクトリーフェニックス）に移籍したことをご報告させていただきます。

移籍した理由はビクトリーフェニックスが2016年度から日本電動車椅子サッカー協会に登録し、公式戦に出場するというお話を聞いたので移籍する決断をしました。

ビクトリーフェニックスが日本電動車椅子サッカー協会に登録したことによって、東北ブロックの活性化を期待しています。

ビクトリーフェニックスに移籍してからもPSCAあもりの練習には練習生として参加しますが、PSCAあもりに対ビクトリーフェニックスなどの対外試合などの時は、ビクトリーフェニックスの選手として立ちほだかりたいと思っているので覚悟をしてくださーい!! (笑)



移籍を発表した柿崎選手



あもり

創作短編小説

ジムノペティⅡ

作ミュージ(とまと利用者)

あの日から10年が経った。少女は美しい女性になっていた。いろいろ考えていたが今は東京でアルバイトをして生活している。シェアハウスで3人の友人と暮らしている。

“サティ”と呼んでいる。

友人とは多くを語りあわない。それぞれが自分の夢のために“仮に住む場所”「サティ」今、女性となった少女。

世界中の人にサティの曲を知ってほしい。そう思ってもがいていた。

友人はたった一言こうつぶやく。“耳が聞こえないの”女性はその言われた途端少女の頃の記憶がよみがえってきたのだった。女性は、その時ひらめいた。耳の聞こえない人のためにできること。絵で音楽を表現しよう。またあの日のように色を置いてみた。すると、頭の中で鳴り出すピアノ。女性は確信した。これしかない。誰にでもわかりやすく伝える方法で曲を伝えようと思った。そして画家になることを決めた。

第1号の題材は心の友ジムノペティだった。

ピアノネット&あもり24 合同忘年会

12月12日、アスパム14階展望レストラン Dining Cafe はなあふにて毎年恒例のピアノネット&あもり24合同忘年会が行われました。

おいしい食事とゲームなど行い、楽しい時間を過ごしました。



お天気に恵まれ 夜景も綺麗です

とまとの収穫祭

10月はとまとの利用者5名がマエダアリーナで行われた「ナイスハートふれあいのスポーツ広場」に参加しました。ロープ送りや風船バレー、大玉転がしをして楽しみました。

11月はハンバーグ作りをしました。皆でおいしく会食しました。



風船バレー



ハンバーグ定食

今年の抱負



佐藤広則
今年こそペンタブレットを
マスターするぞ!!



佐藤真理子
あちこち旅行に行きたいな~



溝江広騎
人脈を更に広げ周囲を
巻き込む力を付ける



松野潤
育毛...



工藤寿樹
使わない物を捨て
られる人になりたい



長内明子
無事に一年過ごせる
といいな~



佐野元昭
充実した日々を過ごしたい



中村立春
水木しげるの妖怪に
込めた思いを忘れず...



須藤拓也
不味不落



相川諒介
来年で30!
もっと頑張ります



稲葉由香子
ナス嫌い克服と
マイナス5キロ痩せる



福田和
悔いのない
1日1日を過ごす!



阿部恵
しっかりした人になる



石塚理香子
自分にとって素敵な
出会いがありますように



青木朋仁
常盤貴子に
会えますように



三浦政純
一番は皆さんの幸せ
自分自身もっと洞察力を養う



斉藤真里子
物忘れが増えてきた...
ヤバッ!!今年脳トレしよう



小山内八代重
清く正しく美しく



竹浪めぐみ
成人式(二度目)を
終えより素敵な大人に...



蛇沼勇樹
現状維持!



三浦政純
一番は皆さんの幸せ
自分自身もっと洞察力を養う



長内昭憲
無遅刻、無違反



前川光二
入院無して
スタジオとまともに来る



谷川幸雄
頑張る!



小笠原啓悟
今年も怪我ないように
がんばる



太田孝行
去年に手抜きした分
今年は少し努力します



沼尾晋悟
今年も頑張りたいと思います



渡辺和歌子
「現状維持」



堀江健介
全部ひっくるめて
良い一年を迎えたい



江畑清美
健康で頑張りたい
と思います



阿部崇
去年は1カ月に1回くらい
カゼをひいていたので今年は
カゼをひかないようにしたい



斉藤隆
利用者様の送迎の安全及び
みなさんの健康に!!



白戸玲
全力失速(笑)
肩の力を抜いていきます



蒔苗紬
一歩一歩着実に



堀みのり
介護福祉士の取得を
目指して頑張ります



芳賀佑介
体調管理に気を使い過ごす



柿崎長潤
サッカーの公式戦に出場する!
スラロームの全国大会で優勝する!

年賀状 喪中ハガキ売上報告

御礼 ありがとうございました
平成27年度年賀状印刷売上

400,521円でした。

ADA法（障害をもつアメリカ人法）の制定 発展経緯の映画上映、ADAツアー報告

アメリカ自立生活運動ドキュメンタリー映画「Lives Worth Living（生きるに値する人生）」上映と、ADAツアー25報告がありました。「アメリカは障害者が暮らしやすい」「バリアフリーが整っている」ということを耳にします。

これには、25年前に制定された「障害を持つアメリカ人法」が大きな力となっています。「健常者と同じように活動し、生活できる環境を整えることが差別解消の根本である。」と訴えたのです。「Lives Worth Living」は、そうした活動をまとめたドキュメンタリーです。また、日本の障害者運動を担う若手人材育成やアメリカのCILの方々との交流等を目的に開催されたADAツアー25の報告では、アメリカでは「障害者に対して対等に接してくれる。人権保障がされている。その反面、呼吸器を付けて生活している方など、重度の方が街を歩いている光景が見られなかった。介護保障の点では日本の方が進んでいると感じた。」などの感想が聞かれました。

【感想】

映画で、「何時間掛かっても上るの。」と歯を食いしばって必死に階段を上る少女や、運動をしていく中で「間違っているなら、俺たちを鎖で縛って逮捕してくれ。」と語る男性。自分たちが求める、信じることへの諦めない強い思いが社会を変えていくということを再認識しました。私のような若手は、制度や環境が整った中で生まれ、生活を続けています。「何でもござれだ？」という問題意識や、それを改善するための行動力・実行力に乏しいということもよく言われます。まず、自分自身を知ること、地域を知ることが必要で、その中で課題が分かって「これを変えたい。」という強い思いに繋がると考えました。

ツアー報告については、街で見かけないという重度障害者が、どのように生活しているのかや、日本での活動にどう生かせるのかをもっと知りたいと感じました。

障害者差別解消法の概要

差別事例の分類・判断について

2016年4月1日に施行される「障害者差別解消法」の概要とCILの役割などについての解説がありました。また、差別事例に対して差別か否か、何の差別に該当するのかなどを、グループに分かれて話し合いました。CILには、差別解消法を各地域に周知するとともに、1つ1つの差別に関する相談事例をデータとして指定の様式に残しておき、国政への提言や活動に役立てていくことが求められる。という話がありました。

【感想】

差別事例の分類・判断をするグループワークでは、法律に照らした上で、多角的視野で判断することの難しさを痛感しました。例えば、状況としては差別であったとしても、家族間で行われたのであれば「親密圏」と認められ、法律上差別にならない。個人の言動は差別解消法上では差別にならない。など、細かな状況の違いや視点の違いによって、判断は大きく異なります。自分が差別を受けた方の相談を受けると考えた時、「気持ちはすごくよく分かるけど、法律に照らした時は差別にならないかもしれない。」という状況の把握や説明、法テラスなど他機関との連携など、求められる役割は多くなります。本人の心情を汲み取りつつ、客観的な視点から判断し、必要な機関と繋ぐことは簡単ではないと思うので、練習を積まなくてはならないと感じました。

匠の技、教えます!~あなたも今日から素敵なオーガナイザー~

ピアカウンセリングや自立生活プログラム等の講座を運営する上で重要な存在となるオーガナイザー。

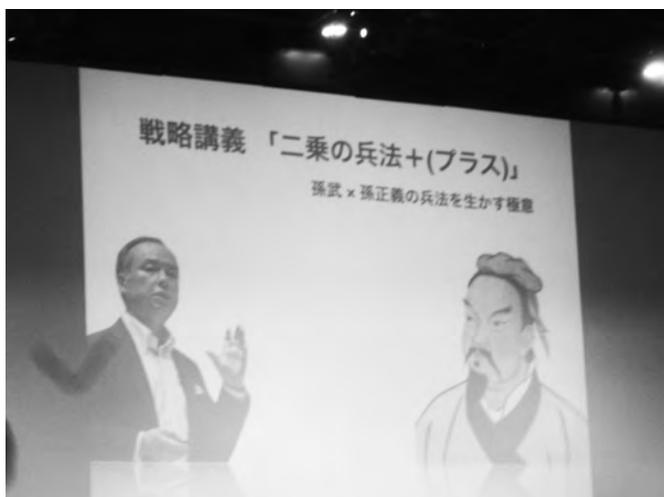
講座開催準備の手順やポイント等をグループワーク中心に学びました。ピアカン集中講座を開くと仮定したグループワークを行い、講師の人選や依頼方法、手話通訳の依頼方法など、具体的な内容を学ぶことができました。

【感想】

ピアカン・ILPの講座に限らず、物事を進めるための手順や方法をしっかりと把握しておくことは大切であり、大まかな流れは他のイベントを開催する上でも共通していると思います。助成金の種類や獲得の仕方などを理解して、今後に繋げていきたいと思います。弊団体の課題として知名度の向上があると感ずるので、イベントなどを開催して実績を1つずつ積み上げていくために有意義な講座だったと感じました。

全体をとおしての感想

今回のセミナーでは、2016年4月1日に施行される「障害者差別解消法」についてや、今後、総合支援法を介護保険法と類似したサービス体系にしようとする流れがあることなど、法律や国政に関する話題が多くありました。私自身、概要は理解しているつもりでしたが、深く説明し、根拠を持って行動できるようにしなくてはならないと感じました。これからも、実際に活用できる知識となるよう、自分の中に落とし込んでいきたいと思っています。



全国デビュー!?

JIL全国セミナー3日目の1コマで、ユースパワーネットの一員として活動紹介をさせていただきました。

このプロジェクトは自立生活運動を継承し発展させていくため、次世代である若手障害者の発掘・育成に主眼を置いて活動をしています。

また、若手障害者が活躍できる場の提供や全国の若手障害者のネットワーク作りも目的にしています。

今回はユースパワーネットの活動紹介と各メンバーの自立生活センター加入のきっかけや、各センターでの仕事の内容などを紹介。約60人の方に聞いていただきました。

場の雰囲気や状況に応じて話し方や内容を変えることのできる引き出しを持てるよう努力していきます。